

2026 年度入試 大学院 社会人入試 後期

下の問1と問2のうち、1つを選んで答えなさい。

問1

旧来のエキスパート・システムはあらかじめプログラムされた指示に従って問いに応答する純粋な合理論者であるとするれば、現代の生成 AI（大規模言語モデル）はネット上に存在する膨大なデータの関連性に依拠して応答する純粋な経験論者といえるかもしれない。歴史が教えるところでは、しかし純粋な合理論も純粋な経験論も人間の知性をとらえそこなっていた。人間は経験から学ぶこともできるし、データの信憑性を疑う理性ももっている。こうした観点から、企業活動の意思決定やミサイル防衛システムを AI エージェントに任せきりにしてしまうことにもなう危険をできるだけ具体的に説明し、今後の AI 開発において考慮すべき課題について、あなたの考えを 800 字で述べなさい。

問2

生成 AI がめざましい進歩を続けている。いまや生成 AI を使って心地よい空間の条件を特定したり、多くの人にとって快適な空間の類型を見出したりすることも可能になりつつある。実現すれば、たとえばカフェやレストランの店舗設計へ応用することもできるだろう。都市の環境設計や衣服のデザインについても、あるいは芸術作品についてさえ、多くの人が心地よいと感じるかたちを見出すことができそうである。そうすると、たとえば自動車のデザインがしばしば類似するように、あらゆるデザインが過度の平均化と画一化の方向へ進む心配はないのだろうか。具体的な事例をあげて考察し、人間を幸せにする賢い AI の使い方とはどのようなものであるか、あなたの考えを 800 字で述べなさい。